

第 55 回 ESD COORDINATOR 資格更新セミナー

期日： 2026 年 8 月 26 日 (水)： 10:00～16:30

会場： 大田区産業プラザ(東京 蒲田) 3階特別会議室

主催： 一般財団法人日本電子部品信頼性センター

ESD COORDINATOR、主任 ESD COORDINATOR 資格は、3 年毎に更新することになっています。更新セミナーは、認証の基本となる IEC 規格の改訂状況を含めた ESD 管理技術のリフレッシュの機会を与えることを目的としています。

実施要領

1. 日時：

2026年8月26日(水)： 10:00～16:30

2. 場所：

大田区産業プラザ 3階特別会議室(添付地図参照)

現地参加が難しい方へ Web 同時配信いたします。お申込みの際、現地受講、Web 受講を選択してください。

3. 対象認証クラス及び対象者：

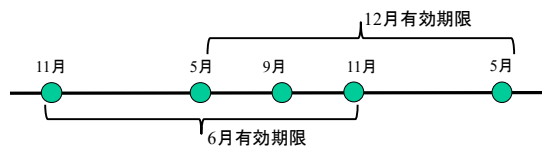
今回は、資格有効期限が以下(1) (2)の方で、資格を維持される ESD コーディネータ、主任 ESD コーディネータの方が対象です。

(1) 2026 年 6 月 30 日、(2) 2026 年 12 月 31 日

ご自身の有効期限は、前回の更新時に発行された認証書(A4判の紙の認証書で、資格登録維持年会費を納入された後に毎年発行されるプラスチック製の認証カードとは異なります)をご確認ください。

有効期限切れの前後 4 回の更新セミナーの受講が可能です。

更新セミナー受講機会： 4回 (セミナーは年3回実施)



注1： 期限切れの半年後に更新セミナーを受講された場合は、期限切れから半年は、登録書(認証書)、認証カードが発行されません。

注2： 期限切れ後の半年以内に更新セミナーを受講されなかった場合は、資格失効となります。

注3： 期限切れの半年前に更新セミナーを受講された場合も有効期限の変更はなりません。

4. セミナー内容：

ESD 対策技術力(IEC ESD 国際規格改訂内容を含めた)向上を主テーマとしたセミナーで、予定スケジュールは以下の通りです。

第 55 回 ESD COORDINATOR 更新セミナースケジュール(予定：講演題名が変更することがあります)

2026 年 8 月 26 日 (水)		
時間	内容	講師
(10:00～10:30)	更新にあたってのガイダンス	RCJ
(10:30～12:00)	RCJS-5-1(第4版)(2025)「一般要求事項」の解説	未定
(12:00～12:45)	昼食休憩	
(12:45～13:00)	RCJのESDC支援活動について(e-ラーニング、出張教育訓練等)	未定
(13:00～13:40)	RCJS-TS-5-4(第1版)(2025)「適合性確認」の解説	未定
(13:40～15:00)	RCJS-TR-1「静電気現象－原理と測定」の解説	未定
(15:00～15:10)	休憩	
(15:10～16:30)	基板・モジュールレベルの静電気対策	未定

5. 教材：① 発表スライドコピー

② RCJS-TR-1:2024「静電気現象-原理と測定」

③ RCJS-TS-5-4(第1版):2025「静電気現象からの電子デバイス保護 適合性確認」

(注：上記資料のいずれかを既にお持ちの方でも、特に割引しませんので、ご了承下さい。)

6. RCJS-5-1(第4版):2025とRCJS-TS-5-4(第1版)の発行

RCJS-5-1 第3版は、IEC 61340-5-1 ed.2 (2016) の発行に追従し、2016年に発行しました。その後、IEC 61340-5-1の改訂版のed.3が、2024年5月に発行されました。その改訂を受け、RCJS-5-1 第4版(2025)を発行しました。また、IEC 61340-5-1 ed.3では、EPA構築後に実施する適合性確認(EPA構築時の性能が維持されているかの点検)方法として、IEC 61340-TS-5-4が制定され、IEC 61340-5-1 ed.3で適合性確認方法として引用されています。そこで、RCJS-TS-5-4(第1版)も同時に発行することにしました。その概要をセミナーで報告します。

7. 参考図書(セミナー時には使用しませんが、参考図書として紹介するものです):

①「静電気管理技術(二澤正行著、RCJ監修)」(新版)

本書は、前書『静電気管理技術の基礎』を全面改定し、最新版のRCJS-5-1(第4版):2025に対応した解説書として新たに発行したものです。本書は、RCJS-5-1(第4版)(2025)(一般要求事項)の他、RCJS-TR-5-2(第2版)(2017)(指針)、および最新版RCJS-TS-5-4(第1版)(2025)(適合性確認)を基に、それらの内容を解説するとともに、静電気管理技術全般を包括的に解説したものです。また、RCJS-5-1(第4版)、IEC 61340-5-1 ed.3(2024)及び米国ESD管理標準(ANSI/ESD S20.20(2021))との相互比較と解説も含まれています。

②「静電気管理入門」(二澤 正行 編著 森北出版:2011年10月)

これは、従来より参考図書として推薦していたもので、この度出版社を代えて再発行したものです。

③「静電気管理のためのデータブック」(二澤 正行 監修 RCJ出版:2012年6月)

これは、静電気管理用資材や保護アイテムの測定方法と実測データをまとめたものです。日々ESD管理に努力されているESDコーディネータの皆様のESD管理用資材・保護アイテムの評価や選定のために大いに参考になります。

8. レポート提出: セミナーテーマに基づくレポート提出が必要です。評価を行います。不合格の場合は再提出が必要になります。テーマ名等の詳細は当日配布します。

9. 参加費(消費税込み)

更新セミナー: RCJ 賛助企業会員: 30,250 円、一般: 38,500 円(税込み)

10. 定員: 現地 40 名 Web100 名

11. 申込方法

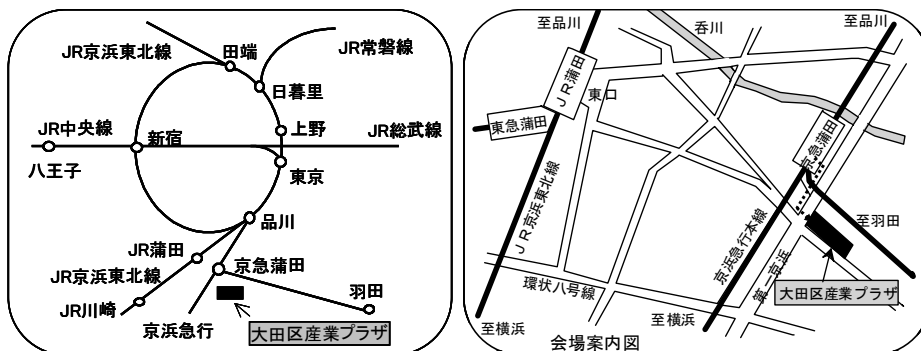
申込先:	(一財)日本電子部品信頼性センター 〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-6 カミナガビル3階 TEL: 03-5830-7601、FAX: 03-5830-7602
申込締切:	2026年8月19日(水) 注)費用の振込み予定日は、貴社の規定に合わせて頂いて結構です。
申込方法:	ホームページのフォーム http://rcj.or.jp/update-seminar-application よりお申込みください。
振込銀行 口座名:	三菱UFJ銀行、日本橋中央支店 普通預金口座 0084373 口座名義: (一財)日本電子部品信頼性センター

問い合わせ先

(一財)日本電子部品信頼性センター RCJ ESD COORDINATOR 資格認証専門委員会事務局

E-Mail: info@rcj.or.jp

◆会場ご案内



会場: 大田区産業プラザ: 3階特別会議室 (<http://www.pio-ota.net/access/>)

〒144-0035 東京都大田区南蒲田1-20-20

交通: 京浜急行線・空港線/京急蒲田駅より徒歩約2分 (品川・横浜・羽田空港よりの所要時間各約10数分)
JR京浜東北線/蒲田駅より徒歩約12分

<ESD COORDINATOR資格認証制度の改定(資格維持、更新に関する改訂)>

(2025 改訂(資格取得時期の違いによる年度区分の明確化)、
2006.9 改訂(会費年度と認証カード有効期間の明確化))

1. 資格の有効期限

資格の有効期限は初回登録日又は更新日から3年とします。また、資格取得月に応じて、以下の2区分とします。

- ① 5月又は6月実施の認証セミナーで資格を取得した人の有効期限は、初回登録日から3年目の6月30日までで、その後更新セミナー合格後3年毎に延長します。年度は7月1日から翌年6月30日までとします。
- ② 10月又は11月実施の認証セミナーで資格を取得した人の有効期限は、初回登録日から3年目の12月31日までで、その後更新セミナー合格後3年毎に延長します。年度は1月1日から12月31日までとします。

2. 3年毎の更新

資格取得後、3年毎に更新が必要です。更新には、再度セミナー受講が必要です。更新セミナーは1日間を予定しており、試験は実施しません。但し、レポートの提出を必須とし、評価を行います。不合格の場合は再提出を求めます。更新セミナーは、IEC 61340 シリーズ規格の改定に伴う研修や知識のリフレッシュの機会を確保するためです。更新毎に認証書を発行し、有効期限を明記します。

3. 資格維持費

資格を維持するには、毎年、資格維持料(年会費)を納入する必要があります。但し、初回登録年度は免除します。免除期間は、① 5月又は6月実施の認証セミナーで資格を取得した者は、取得日から翌年の6月30日まで、② 10月又は11月実施の認証セミナーで資格を取得した者は、取得日から翌年の12月31日までとします。なお、初回免除後の年度毎の資格維持料の請求は、毎年4月に統一します。

4. 認証カード

認証カードは1年毎に発行します。認証カードの有効期限は1年間とし、① 5月又は6月資格取得者は、7月1日から翌年6月30日まで、② 10月又は11月資格取得者は、1月1日から12月31日までです。

5. 資格失効

会費請求後1年以内に会費の納入が無い場合は、有効期限内でも資格が失効します。また、セミナー後のレポート未提出やレポート不合格の場合も資格が失効します。

以上のとおりに、資格維持は1年サイクル、資格更新は3年サイクルで運用します。

<ESD COORDINATOR、主任 ESD COORDINATOR 更新に関する要領>

1. 更新セミナー内容

- (1) 時間は1日とします。
- (2) 内容は、IECにおける規格改定状況(IEC 61340 5-1を中心に改訂状況の説明)や実際のESD対策技術のセミナーです。
- (3) セミナーは、ESD COORDINATOR、主任 ESD COORDINATORとも同じ内容です。
- (4) 期限内に、テーマに基づいたレポートの提出が必要です。評価を行います。不合格の場合は、再提出になります。再提出の場合は有料(5,000円)となります。
- (5) 主任 ESD COORDINATORの更新時には、ESD COORDINATOR試験用問題の作成をお願いすることがあります。

2. 開催頻度

年3回(原則5月、9月、11月)に開催します。

3. 更新期限

- (1) 更新セミナー受講は、有効期限半年前から受講可能とします。
- (2) 期限に余裕を持って受講しても、その後の継続期間は、前回の有効期限切れ日を基準とした3年とします。(例:有効期限切れが2026年6月30日で、2025年11月に更新セミナーを受講した場合、有効期限切れは2029年6月30日となります。)
- (3) 期限切れ後半年以内に更新セミナーを受講すれば継続可能とします。但し、更新セミナー受講後の有効期限切れは、前回の有効期限切れ日を基準とした3年とします。(例:有効期限切れが2026年6月30日で、2026年11月に更新セミナーを受講した場合、有効期限切れは2029年6月30日で前の有効期限が基準となります。)
- (4) 期限切れ後半年以内に、更新セミナーを受講しない場合は、資格失効となります。もし、ESD COORDINATOR資格を要望する場合は、最初からの受講となります。

4. 更新期限内に主任 ESD COORDINATOR へ資格格上げの場合の取り扱い

- (1) ESD COORDINATOR が主任 ESD COORDINATOR に格上げになった場合、更新セミナーは、格上げ時点から3年以内に受講する必要があります。
- (2) 3年間の資格有効期限切れ時に、主任 ESD COORDINATOR セミナーを受講する場合、可否結果に係わらず、更新セミナーの受講を免除します。

＜費用＞

区分	項目	費用(消費税込み)(円)	
		RCJ賛助企業 会員	非会員
①	ESD COORDINATOR資格更新セミナー (①RCJS-TR-1(2024)「静電気現象－原理と測定」、②RCJS-TS-5-4(第1版)(2025)「静電気現象からの電子デバイス保護 適合性検証」、③発表スライドコピー(pdfで配布))	30,250	38,500
オプション(RCJ賛助会員、非会員の区別なし。但しESDC資格保有者が対象)			
②	RCJS-5-1(第4版):2025「静電気現象からの電子デバイスの保護－一般要求事項」	6,600	
③	「静電気管理技術(二澤正行著、RCJ監修)」(新版(2026年2月発行))	12,100	
④	「静電気管理入門」(二澤 正行 編著 森北出版:2011年10月発行)	3,960	
⑤	「静電気管理のためのデータブック」(二澤 正行 監修 RCJ出版:2012年6月)	6,380(特別割引)	

注) ②は、資格認証基準の静電気管理標準で、改訂第4版(2025年12月発行)です。

③は、ESDCセミナーで使用している解説書で、RCJS-5-1(第4版):2025対応の新版(2026年12月発行)です。

④は、従来より参考図書として推薦していたもので、この度、出版社を代えて再発行したものです。

⑤は、静電気管理用資材や保護アイテムの測定方法と実測データをまとめたもので、ESDC必読書です。